

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像
「将来をみすえ、自ら学習できる子」 ○自分のよさを知り、人とつながり協働する子 ○ゆめの実現に向かって粘り強く取り組み、活力ある生活を送れる子

堺市立 西陶器小学校
校長 川口 和義

令和8年度 重点目標
学校教育目標 : 「一人ひとりが達成感を味わい、笑顔と夢があふれる西陶器っ子」
めざす子ども像 : 1 自分で考え実行力のある子ども 2 自分のよさを知り、人を認め、人とつながり協働する子ども 3 夢の実現に向けて挑戦する子ども
組織上の重点目標 : 「子どもが安心と居場所を感じる学校づくり」～国語の「読み」を中心とした学力向上と生徒指導対応力の向上～

確かな学びの現状
昨年度実施した全国学力・学習状況調査の結果から、国語では「話すこと・聞くこと」、算数では「数と計算」領域といった基礎学力面において全国や大阪府の状況に比べると低い状況にあることから、今年度は基礎学力の定着を中心に据える。しかし、「話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」には全国や大阪府を上回っていることから、昨年度の研修テーマ「考え抜く児童の育成」に一定の成果があると判断できる。話し合い活動から得られる充実感を学力の定着に結びつけることができるように、基礎学力の定着を図っていききたい。

豊かな心・健やかな体の現状
昨年度、「特別な教科 道徳」を研究教科において全クラスで研究・公開授業を実施し、豊かな心の育成に取り組んできた。本校の児童は「親切、思いやり」「よりよい学校生活、集団生活の充実」が長所として捉えることができている。また、全国学力・学習状況調査の結果からも「自分にはよいところがある」の項目が90%以上肯定意見で、全国や大阪府より高い結果となっていることから、引き続き道徳の授業力向上と、学校全体のいいところみつけの取り組みを継続していく。体力面では全校体力・運動能力、運動習慣等調査の結果では、昨年度は各種目の合計(体力合計点)が全国・堺市を上回っていたが、今年度男子は下回った。今年度も、体力向上する取り組みを、体育委員会を中心としたイベントや、運動量を確保した授業をもって、さらに伸ばしていきたい。

| 大項目 | 中項目 | 具体目標 | 具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組) | 判断基準 (評価のものさし) | 評価方法 | 評価時期 | 進捗確認 (～〇月) | 達成状況(年度末) | |
|------------|----------|----------------|---|--|--------------|------|---------------|-----------|---------|
| | | | | | | | | 自己評価 | 学校関係者評価 |
| 確かな学び | 総合的な学力向上 | 主体的に考える児童の育成 | 国語科の研究授業を各学年1本ずつ、また、事前授業の公開授業など、全職員が公開授業を実施し、授業力向上に努める。 考える時間や交流する時間を多く取り入れるなど、主体的に考える力をつけることを意識した授業に取り組み、子どもの思考力向上に努める。 | 年間公開授業11回以上 | 実践報告 自己評価 | 年度末 | | | |
| | 学びの基礎力 | 学びに向かう力・人間性の向上 | ICT活用によって、新たな見方・考え方に気づき、自分の考えをより深める児童を育てる。 家庭学習ノートの代表を月に1回選出したり、数名のノートをクラス掲示したりすることで、自ら進んで学習しようとする児童を育成する。 | 児ア「自分の考えを書いたり、伝えたりしている。」肯定意見90% 児ア「児童用タブレットを使うことで、勉強がしやすくなる。」肯定意見80% 児ア「めあてを意識したり、自分で計画を立てたりして、家庭学習に取り組んでいる。」肯定意見85% | アンケート | 年度末 | | | |
| 豊かな心・健やかな体 | 心の教育の充実 | 道徳教育と生徒指導の充実 | 道徳教育・道徳の時間の充実を図り、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 | 児ア「人の気持ちを考えたり、人と助け合ったりしていきたいと思う。」肯定意見90% | アンケート | 年度末 | | | |
| | | | いいところみつけを通して、児童の自尊感情を高める。 児童のいじめについての理解を深め、いじめを許さない態度を育む。またいじめ問題に対し迅速かつ組織的な対応をする日頃から児童の実態を全職員で共有する | 児ア「自分には良いところがあると思いますか。」肯定意見85% 児ア「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。」肯定意見100% | アンケート | 年度末 | | | |
| | 体力の向上 | 心身ともに健全な子どもの育成 | 早寝・早起き・朝ごはんなどの基本的な生活習慣の定着を図る。 | 「早寝・早起き」「朝ごはん」肯定意見80% | アンケート | 年度末 | | | |
| | | | 体育の授業や体育行事の充実を図り、十分な運動量を確保する。 | 児ア「体育の授業や休み時間などで体を動かすことが好き。」肯定意見90% | アンケート | 年度末 | | | |
| 開かれた教育 | 期待と信頼 | 公開・評価・協働 | 学校ホームページ、校報等を活用し、教育活動の現状と成果の発信に努める。 | 学校ホームページにおいて、昨年度のアクセス数を上回る。 | アクセス数 | 年度末 | | | |
| | | | こ幼小の交流、小中一貫教育の推進 | こ幼小中間で研究授業や参観授業の実施を行い効果的な交流の検証をする。 | 自己評価 実践報告 | 年度末 | | | |

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)